



**凡 例**

**輪郭構造**  
 滑落崖と側方崖  
 新鮮または開析されていない冠頂をもつ滑落崖  
 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖  
 冠頂が著しく開析された滑落崖  
 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖  
 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置  
 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖  
 中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対斜面とすべり面との交線である。  
 後方崖、多重稜線等

**移動体の輪郭・境界**  
 後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭なし判定可能  
 後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難  
 滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している  
 ほかの移動体や堆積物におおわれた部分  
 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲  
 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘  
 脚部線・削剥域下限

**内部構造**  
 二次・小滑落崖、崖線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす  
 サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭  
 移動体内の小尾根  
 幅の広い溝状凹地、亀裂  
 幅の狭い溝状凹地、亀裂  
 雁行亀裂  
 線状窪地・小谷底線  
 一は谷の出口または谷底の傾斜方向  
 池  
 水のない窪地  
 膨隆地の前線

**移動方向等**  
 移動体の主移動方向  
 すべり  
 クリープ(爬行)  
 流れ・押し出し  
 落石など  
 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向  
 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

**その他**  
 遷急線  
 活断層(地すべりを変位させている顕著な断層)  
 地層面等および節理・断裂の走向・傾斜

**行政区画**  
  
**索引図**  
  
 長崎県  
 1. 南松浦郡 2. 西彼杵郡

1:50,000 有 川  
  
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院 許可なく複製を禁ずる発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平20業機、第339号)」  
 調査者 清水文健・井口 隆・大八木規夫  
 by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI  
 LM-751